

2018年7月31日、イルサンキンテックス
第21次世界レムナント大会（歓迎の辞）

柳光洙牧師(整理:チャ・ドンホ牧師)

主題：未来のいやしとサミット(黙示 1:1-3)

歓迎の辞

▲30年前から、私たちの牧師先生とともに、今までずっと伝道してきました。牧師先生とともに10年ぐらい伝道した後に悟ったのです。世界教会がつぶれていっていることを知りました。ヨーロッパはもう、つぶれて長い時間がたち、アメリカもつぶれ始めました。韓国も速い速度でつぶれていき始めています。そこで、聖書に見たら、そのような時ごとに次世代を立て起こしていました。切り株を立て起こしたのです。それが英語でレムナント(Remnant)です。

▲それを20年間しました。このレムナントは、リーダーで、全世界にこのようなレムナントが起きています。私たちはこのレムナントに教えなければなりません。教会を生かして、世界福音化することができるように・・・(教会がつぶれていくようになった)その結果で、全世界にはわざわいが起きています。その中で一番多いのが精神的な病気です。子どもたちは、ほとんど麻薬に陥る、そのようなことが起きています。

▲ですから、今大会で、本当に私は誰なのか。私たちはこの大会をなぜするのか。神様が何を希望されるのかを見つけなければなりません。神様は答えられると約束されたのですが、私たちの次世代、レムナントが持って行かなければなりません。時代時代ごとにそうでした。エジプトに勝てずにいたとき、神様は幼いヨセフとモーセを呼ばれました。その運動しようということでした。ペリシテにいつもやられていたとき、神様はミツパ運動を起こして、サムエルとダビデのような人物をたてられたのです。アラムの国にやられていたとき、エリシャをたててドタンの町運動をされました。パウロがなぜ会堂に入ったのかわっていますか。レムナントを育てなければなりません。時間過ぎた後に、完全にローマは福音化されました。私たちがこのことをしなければならぬのです。ですから、神様はずっと答えをくださるでしょう。

▲今年は、昨年よりさらに多く集まりました。ずっと私たちの伝道運動が起きるでしょう。私たちは霊的わざわいを防がなければならぬのです。特に、今、バヌアツの大統領がこの場に参加されました。なぜなら、バヌアツは周辺の6か国を生かせる重要な国だからです。私たちが祈ったのですが、神様がそのように答えを与えてくださいました。バヌアツとその周囲にある国に、レムナント運動が起きなければなりません。また、私たちの韓国キリスト教総会の方たちが参加してくださったことに感謝申し上げます。私たちが伝道運動を継続できるように祈ってくださるようお願いいたします。また、私たちの愛国キリスト連合会クォン・ヨンへ前長官が参加していただきましたが、私たちが正しい福音で国家を愛することができるように祈ってくださるようお願いいたします。この運動は、私たちの運動ではなくて、福音が宣べ伝えられる神様の働きに私たちがお手伝いをするでしょう。特に、私たちのレムナントに今回、重要な機会になって、時刻表になることを望みます。本当に私たちの未来をどのようにいやすのでしょうか。また、私たちが、未来サミットにならなければならないのに、どのようにしなければならないのでしょうか。こういうことを、みことばで分かちあうようになります。感謝します。私たちの神様に栄光を帰します。

(The end)